

ARIEL

/エリアル 飛行ユニット装備

GOOD SMILE COMPANY

エリアル ARIEL

全領域要撃 / 支援レディ

富士山麓陸に位置する学術研究都市 SCEBAI (科学・化学・電子工学・生化学・航空宇宙技術工廠) が開発・運用を行う秘密機動兵器が、「全領域要撃 / 支援 (オール・ラウンド・インターセプト & エスコート) レディ」すなわちエリアル (ARIEL) である。

開発者は SCEBAI 創設者であり国立科学研究所長の座にあるマッドサイエンティスト岸田博士。次期主力戦車、次期要撃 / 支援戦闘機をわずか1機種で兼用する構想のもと開発された実験兵器であり、1機あたりの開発研究費の総額は、およそ原子力空母 10 隻分の建造費に相当する。

その外観は、何千種ものシミュレーションの中から選ばれた、流麗なボディラインを持つ女性型デザイン。プラチナブロードの髪は、高熱伝導率のクリスタル・ファイバーを用いた放熱素である。固定武装をほぼ持たないが、親指以外は第三関節まで稼働する手、人の腕と同じ三次元の動きを再現できる腕により、多彩な外部兵装を運用可能。武器運用機 (ウェポン・キャリア) として、あらゆる事態に対応する能力を持つ。

電子機器は核パルスを考慮して、主要部分に光電子システムを併用。装甲はキロン級の核の攻撃に耐えることが可能。胸部に収まる球型カプセルに収められたコクピット (操縦カプセル) は、周囲から隔離された電磁浮遊式のフル・フローティング・システムにより、あらゆる衝撃から乗員を保護する。

機体の基本的な動作は、頭部に搭載された第六世代コンピュータ「AYUMI」が制御。ソフトウェアの特性は岸田博士の姪と孫 3人に合わせられており、乗員スペースなどのハードも彼女たちを想定して設計されているため、実質的な専用機となっている。

- SPEC**
- 全高: 40m (ヘルメット含まず) ■重量: 800 t (A A: 600 t)
 - 主動力源: トカマク型レーザー核融合炉 LAF300 (A A: LAF500)
 - 出力: 3,000,000kw (A A: 5,000,000kw)
 - 搭乗員: ○チーフパイロット: 河合美亜 (岸田博士の姪)
○メインパイロット: 岸田和美 (岸田博士の孫)
○ガンナー: 岸田 綺 (岸田博士の孫)
 - 固定武装: 指先に X 線レーザー発振器を搭載
 - 外部兵装: 120mm バルカン砲 / ハイパワーライフル / ECG-300B 型荷電粒子砲 / スプレーガン / 6 連装ミサイルポッド……等多数
- ※ A A……アドバンスド・エリアル (新型機)

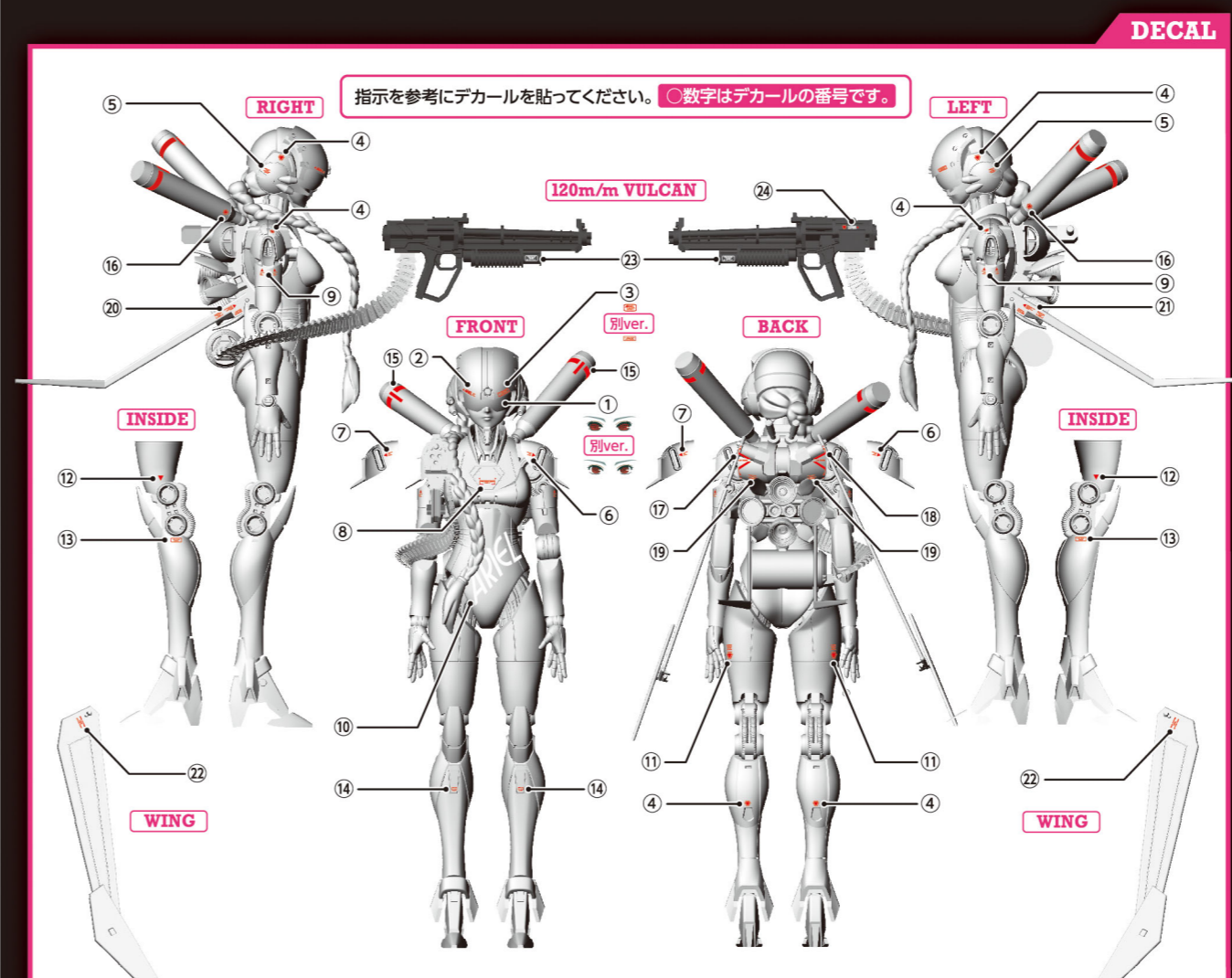
執筆 / 島田康治、谷崎あきら (タルカス)



エリアル 飛行装備

バックパック / 120mm 3連装バルカン砲

ミサイルパック、可変翼、推進剤タンク、そして4基の大推力スクラム・ジェットエンジンなどで構成される飛行用バックパック。可変翼にはハードポイントを備え、ミサイルパックには SCEBAI 独自開発の多彩なミサイルを装備可能。大推力スクラム・ジェットは、両脚に備えるロケットブースターと併用することで、エリアルに超音速巡航能力を付加。大気圏外でも使用できる。120mm バルカン砲は、戦車砲を3本を束ねた回転式多銃身機関砲で、徹甲弾、粘着性弾、成形炸薬弾等の各種砲弾を連射可能。ヘルメットは頭部の防御力を向上させる一方で、放熱素を一部覆うため冷却効率は低下する。



デカールの貼り方

はさみ、カッターなどでシートから必要箇所をカットします。

カットしたデカールを水にひたして、しばらく待ちます。

デカールが台紙から動かせるようになったらピンセットなどを使って、貼りたいパーツに移します。

位置を決めたらティッシュや綿棒などを使って水分を押し出すようにデカールを圧着させます。

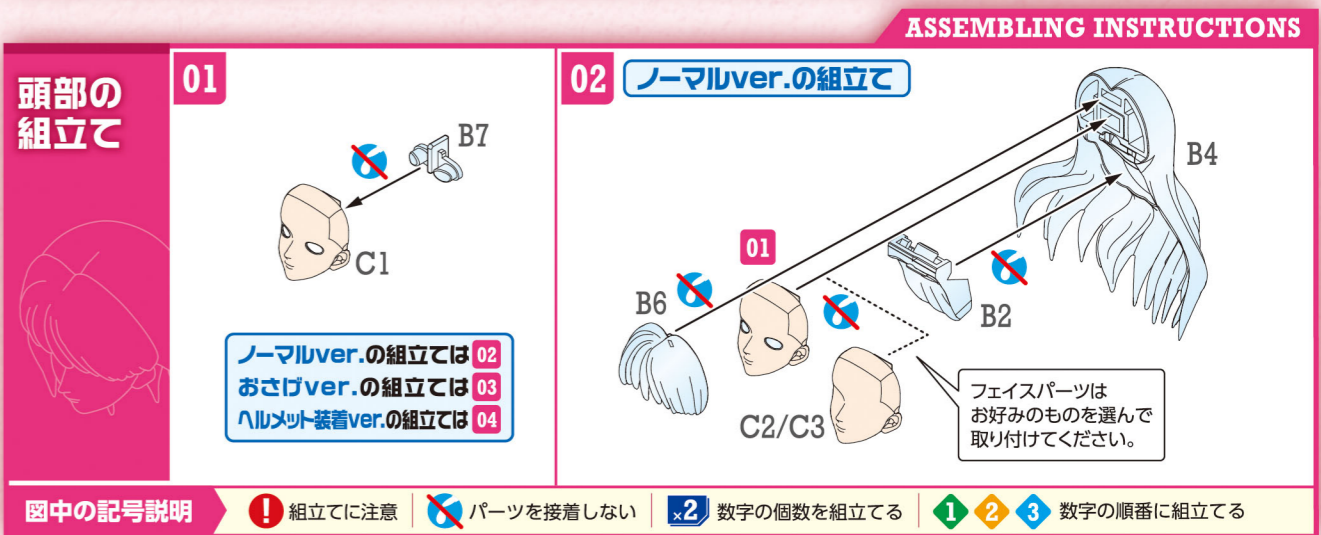
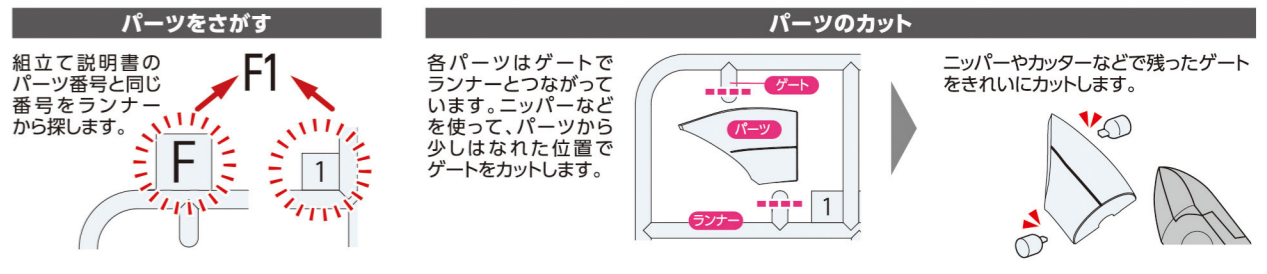
CAUTION

必ずお読みください

- 商品の対象年齢は15才以上です。鋭い部品があるため、安全上15才未満には適しておりません。
- 窒息などの危険がありますので、小さな部品を口の中に入れてください。
- パーツの誤飲などの危険があります。ご家庭に小さなお子様がいらっしゃる場合、必ずお子様の手の届かないところに保管し、絶対にお子様には与えないようにしてください。
- 窒息などをされる恐れがありますのでパーツ梱包用のビニール袋で顔を覆ったり、頭から被ったりしないでください。
- 塗装を行う際は、必ず換気を良くしてください。

組立て時の注意

●組立ての前にこの説明書をよく読んでください。●部品は番号を確かめてから、ニッパーなどで切り取ってください。切り取った時に出的クズなどは捨ててください。●部品加工に使用する刃物などの工具、また塗料や接着剤などについては、それぞれの取扱説明書を良く読んで、正しくお使いください。●部品には製法上やむをえず尖ったものがありますので、目や皮膚を刺さないよう注意して組立ててください。●塗装を行う際にはより安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。



組み立て式プラスチックモデル
© 岸本祐一・鈴木雅久 / 朝日新聞出版
※組立て説明書のイラスト・画像と商品とは多少異なります。ご了承ください。

03 おさげver.の組立て

全てのパーツを接着をしません。

フェイスパーツはお好みのものを選んで取り付けください。

フェイスパーツはお好みのものを選んで取り付けください。

04 ヘルメット装着ver.の組立て

フェイスパーツはお好みのものを選んで取り付けください。

フェイスパーツはお好みのものを選んで取り付けください。

06

強度を持たせたい場合はK15→M9(M10)をお使いください。

後ろ側

B3は03おさげver.と共通です。

08

強度を持たせたい場合はK15→M9(M10)をお使いください。

後ろ側

B3は03おさげver.と共通です。

05

フェイスパーツはお好みのものを選んで取り付けください。

フェイスパーツはお好みのものを選んで取り付けください。

07

強度を持たせたい場合はK15→M9(M10)をお使いください。

後ろ側

B3は03おさげver.と共通です。

08

強度を持たせたい場合はK15→M9(M10)をお使いください。

後ろ側

B3は03おさげver.と共通です。

09

強度を持たせたい場合はK15→M9(M10)をお使いください。

後ろ側

B3は03おさげver.と共通です。

19 右脚の組立て

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33 右腕の組立て

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48 銃の組立て

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61